

武漢王家墩 CBD 中央核心区地下鉄駅周辺地下空間詳細計画



発注者 : Wuhan CBD
Investment & Development CO.LTD
所在地 : 中国湖北省武漢市江漢区
計画段階 : 修建性詳細計画
計画範囲 : 約 25ha
計画対象施設 : 中央広場 / 地下通路 / 地下街 / 地下道路
主要用途 : B1F サンクン広場 / 地下鉄コンコース / 商業 / 通路
B2F 地下鉄コンコース・ホーム / 商業 / 通路 / 地下道路・共同溝
B3F 地下駐車場
工期 : 2010年01月～2010年12月

武漢市王家墩飛行場跡地での CBD 開発区の地下空間 修建性詳細計画を行った。本 CBD は武漢市が計画する 複数開発地の中でも、先駆けとして整備が推進される重要拠点である。今回の計画対象である 25ha の中央核心区は更にその中でも先行的な開発が予定される区域である。

計画地においては、地下鉄 2 路線 2 駅、アンダーパス道路等の各種の都市インフラが複雑に交差して整備される予定である。本計画においては、主に公共敷地の地下空間を対象として上記施設との調整を行いながら合理的な施設配置を目指した。

施設の機能配置については、CBD の中心区としてより求心性を高めるような広場とすること、地上-地下の連携強化を念頭においた地下施設配置を行うことを主眼にした。また段階整備を視野に入れ、地下交通施設との調整を図りながら地下通路・商業、地下環状道路、共同溝等の各施設について計画・提案を行った。